

私たちの信というのは信頼という言葉で言われるようなものです。自分の思いにかなつたものを信頼したり、また自分の思いから外れると裏切られたと思つてします。私たちは信頼できると自分が判断したときのみ少し信頼しようと思います。それはどこまでいっても自分の思いから越えた信ではありません。浄土真宗の信は他力のません。

もともとイングランドも昔の言葉の翻訳したものだそうです。そのシユラッダーという言葉を日本の言葉に訳すると、心を澄んだ淨らかなものにする作用となるそうです。人汗ということの内実は心がきよらかになつていくということといえるのではないでしようか。今まで濁つていたものが少しづつ澄んでくる。今

淨土に何故自分が生まれなければならないのかということが  
はつきり見えてくるからこそ阿弥陀仏を信じることが出来るの  
でしょう。

厭うとは、いやに思う・いやに思つて避けるという意味があ  
りますが、もう一つ、大事にする・いたわるという意味がある  
ことにも注意しなければならないと思うことです。

「信心獲得」すると言ふことが  
私たちが一番しなければいけない  
こととされています。信心とは  
阿弥陀仏を信じる心、その心  
を体得することが私たにとつて  
一番大事なことなのです。しか  
し、信、信心という言葉に対す  
る誤解が合つたことに最近気づ  
かされた私です。

信心といわれるよう自分を越えたところにおこる信頼です。ですから私たちが思うような信とは違うということなのでしょう。

仏教に関する辞書を開いてみると、「心を澄んだ淨らかなものにする作用」という風にかかるでいました。お経の中にかかれている「信」という字は、

でもそうちわめっこ、おぼえ  
そうらえ。よくよく御こころえ  
そういうべし」ということをた  
よりにして考えると、真実が見  
えるとは自分の心の悪いところ  
が見えてきて、さらに世の中に  
おこっていることに厭わなけれ  
ばならないことがたくさんある  
ことを思い知らされることなの  
でしよう。

# 信託の仕組み

発行: 真宗大谷派 常入寺  
富山市東老田 787 番地  
電話(076)436-0816  
FAX(076)436-2766  
携帯090-3764-3983  
発行責任: 貢井和成

まで濁つて見えていなかつたものが少しづつ見えるようになつてくることを信ずることと言つても良いことでしよう。

# 城端別院 法寶物御巡回布教

日 時 三月六日（金）  
午前9時30分より  
午後3時30分まで

# 數座裡庫寺入常場會

布教使 未定

# ご命日の集い

三月から再開します

ご命日の集いとは私たちの宗祖、親鸞聖人のご命日である二十八日に開催する仏事です。常入寺では三月から九月の間の毎月二十八日に勤めています。何をやっているのかといえば、実は難しいことは何もありません。宗祖親鸞聖人がお造りになられた「正信偈」といううたをみんなで節を付けて読んで、後はお茶を飲んでいるだけです。それだけです。

皆さんも月に一度お寺に集いお茶しませんか？  
どうぞお気楽に顔をお見せ下されば幸いです。  
お待ちいたしております。

毎月二十八日午後二時～三時ぐらいまで  
とにかく一回来てくだはれまつ！ たのんちゃん

ご近所の方をお誘いの上是非お参りください。おまちいたしております。



2009年 4月8日(水) 開演18:00(開場17:30) 富山県高岡文化ホール  
 (平成21年) 4月9日(木) 開演14:00(開場13:30) 研波市文化会館大ホール

ご観劇料 A席 6,500円 B席 5,000円 全席指定

主催 浄土真宗本願寺派(お西)高岡教区・真宗大谷派(お東)高岡教区 後援 北日本新聞社

お問い合わせ 高岡教務所(お西) 0766-22-0887 (お東) 0766-22-0464

残りわずかになりました。ご観覧ご希望のお方は今すぐ住職までご連絡ください。ご用意いたします。(かも)